



平成 24 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 森下仁丹株式会社
代表者名 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号 4524 東証、大証各第 2 部)
問合せ先 取締役常務執行役員 武貞 文隆
電話番号 06-6761-1131(代表)

サーチュイン遺伝子（長寿遺伝子）増強剤に関する特許出願のお知らせ
～ザクロの新たな機能性に関する共同研究成果～

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区／代表取締役社長：駒村純一）は、国立大学法人九州大学大学院農学研究院システム生命科学府の片倉喜範准教授らの研究グループと共に、サーチュイン遺伝子（長寿遺伝子）の増強剤に関するスクリーニングを実施し、その研究成果を特許出願しました。

当社では、長年に亘る生薬研究の成果として、安全性の情報と科学的エビデンスを備えた独自の機能性素材を保有し、自社製品への活用や素材供給を行なっております。

ザクロ（柘榴）は、日本人には古くから親しみのある果実ですが、その機能性に関する研究が充分になされておらず、商業的生産も含めた利用が未開拓の素材です。既に公表の通り、当社はザクロ特有のポリフェノールにプレバイオティクス効果や抗糖化機能を見出し、応用開発を進めております。本研究グループでは、植物や微生物およびそれらの由来成分等から、サーチュイン遺伝子の活性を高める素材探索を重ねた結果、特に「ザクロ」に含まれる成分に高い増強活性を見出し、特許出願に至りました。

サーチュイン遺伝子（SIRT1）は、長寿遺伝子や抗老化遺伝子とも呼ばれるもので、カロリー制限などによってその遺伝子が活性化し、それによって合成されるタンパク質が遺伝的な調節に関与することで、生物の寿命が延びるとされています。

本研究グループによるスクリーニング結果を受けて、さらにザクロのサーチュイン遺伝子増強活性に関する研究を推進し、これらを利用した商品化へ向けての開発に注力して参ります。

尚、本件の本年度業績への影響は軽微であり、本年度の業績予想に変更はありません。

出願日：2012 年 9 月 13 日

出願人：森下仁丹株式会社、国立大学法人九州大学

発明の名称：「サーチュイン遺伝子活性増強剤ならびにそれを用いた医薬品、化粧品、および食品」

以上